

だんないの道

第20号

2015年11月11日発行

発行者：NPO法人CIL だんない

代表者：美濃部裕道

連絡先：〒529-0423 滋賀県長浜市木之本町
千田681番4

TEL : 0749-50-3639

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

代表あいさつ P1	秋の特別ILPを P2
だんないに入って P2	活動報告 P3
職員リレートーク P5	コラム ヨリの雑記帳 P6

代表あいさつ

11月になって気温がグッと低くなり、私の周りには鼻声の人が増えてきました。こう言う私も9月の終わりに風邪を引いてしまい、3日間ほど寝込んでいました。今回は鼻水が出て、ノドも痛くなり、呼吸をするのがかなり苦しかったです。冷え込みが厳しくなり、季節が進むのを感じる今日この頃、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。最近、『だんないの道』の発行ペースが遅くなっているのが、とても申し訳なく思います。次号は間髪入れずに発行したいのですが…

さて、この夏も暑くなりました。台風も例年よりも多く、日本に大きな被害をもたらしました。そんな中で、だんないは今年の夏もたくさんの企画を考え、実施することができました。特に印象的だった企画は、『夏休み企画 特別なサマーにしたいんだから～♪』と『秋の特別ILP企画 3連続シリーズ』です。

夏休み企画は、普段なかなか関わるることができない地元の子どものたちに向けて、映画鑑賞やビンゴゲーム、流しそうめん、バーベキューなどを催しました。あいにくの雨となり、縮小しての開催でしたが、25名以上の参加がありました。子どもたちはビショビショになりながらも最後まで参加してくれました。私たちにとっても、小さい子どもたちとのふれ合いは、とても貴重な機会となりました。協力していただいた皆さん、ありがとうございました。

秋の特別ILPでは、3回に分けて開催しました。1日目は愛知県にあるCIL、「AJU 自立の家」を訪問し、見学させていただきました。とにかく大きな法人で、半径300メートル圏内にヘルパー派遣事業所や就労支援事業所、自立体験の場、CIL活動の拠点などが点在していました。また、ひとつひとつの事業所が大きく、2階・3階立てビルがほとんどで、見るもの、聞くことすべてに驚愕（きょうがく）していました。最後には、交流会を開いていただき、あたたかいおもてなしを受けました。この上ない歓迎をありがとうございました！

2日目はオムライスとチーズフォンデュ作りをしました。春と同様に、指示介助を念頭に置き、進めていきました。ヘルパー介助に慣れていない人もいましたが、だんだんと指示がスムーズに出るようになり、オムライスもチーズフォンデュも思い通りに作ることができました。前回の反省だった後片づけも、もれなく指示を出すことができました。当事者にとっても、介助者にとっても、初心を思い出す時間となりました。

3日目は大阪の難波で、いろいろなポイントを歩きめぐってミッションをクリアしていく「なんばおにごっこ」に参加しました。ウォークラリーをする中で、バリアフリー調査や啓発活動をするのが目的です。400名ほどの当事者の参加がありました。とても疲れましたが、楽しく取り組むことができました。

さて、8月に私たちは新たな当事者仲間を得ました。岡田真由子、「まゆちゃん」と呼んでいます。彼女はとても明るく、積極的です。企画の想像力も豊かで、自立生活プログラムや地域交流イベントで力を発揮してほしいと期待しています。今後、障害や活動のとらえ方について、もっと一緒に考え合いたいです。また、昨年末から休んでいた谷口健人（たにけん）も復活してきました。彼も明るく、元気なポッチャリ癒し系(?)で

美濃部 裕道

秋の特別ILPを振り返り

小里 和也

今回は、9月に開催した秋の特別ILP3連続シリーズの報告をします。

1日目は、CILで活動している当事者と出会い、話を聞いて交流を深めました。活動内容や自分がどんな思いでCILに入ったかなど、色々な話を聞きたいと思い、名古屋にあるCIL「AJU自立の家」に行きました。

わだちコンピュータハウス（就労支援 パソコン入力）とマイライフ（ヘルパー派遣事業）の事業所を見学させていただきました。その後は、交流会に参加しました。自分たちがやっている活動内容やお互いCILに入ったきっかけなどを話せて良かったです。

今回、AJUに行き、思ったことがあります。それは、みんな自分に自信を持っていて指示にプレがなく、当事者側 介助者側 双方の信頼が厚くすごいなと思いました。

これからも各地のCILを周り、交流を深め、だんないにはない何かを見つけ、勉強をしていきたいです。

2日目は、料理作り第2弾として「チーズフォンデュ&オムライス」を作りました。指示介助で料理を作り、自信をつけてもらうというものです。

前回の餃子作りよりも、あわてる様子もなく一人一人がリーダーシップをとり、周りにもアドバイスをしながらすごく自信を持った様子で作っていました。

「この大きさならノドに詰まらないかな」といった配慮の指示などもありました。具材を切る作業が多いので、細かい指示で切り方などを伝えほしくて、あえてチーズフォンデュを選びました。

感想では、良かった事や課題などいろいろな感想が聞けてうれしかったです。

この企画で初リーダーをやってくれた 谷口健人さん お疲れさまでした すごくおいしかったです。

3日目は、大阪のなんばに400名の参加「なんば鬼ごっこパートII」に行きました。なんばを周り、鬼を探し、色々なミッションをクリアしポイントを集めるというものです。

鬼ごっこに参加して、少しずつ難波の街がバリアフリーになってきているのを知り、当事者が外に出て活動する必要性や当事者のパワーを感じました。

この3連続シリーズを通して、色々な当事者と出会いや交流の必要性をあらためて感じました。また、このような交流を大事にした、今後の自分のためになる何かを掴むキッカケになる企画をしていきたいです。

だんないに入って

私は、9月からだんないに入った岡田真由子です。

入った初めての日に長浜黒壁スクエアにステッカー張りにいってきました。そこで思った事はこういう活動をいっぱいしてもっと地域の人と関われたらいいなとおもいます

後はこれからも色々な楽しいイベントを考えていきたいです

宜しくお願いします。

岡田真由子

活動報告

日付	内容	参加者
7月15日	長浜養護学校 訪問	美濃部
16日	だんない企画会議	
19日	アクセスマニア集会	頼尊
22日	やまぶき作業所 訪問	美濃部
24日	だんないBBQ	
26日	ぼてとファーム訪問	頼尊
27日	ピアカウンセリング委員会 打ち合わせ	美濃部
28日	ピアカウンセリング委員会 会議	美濃部・小里
30日～8月2日	障害者の政治参加を すすめるネットワーク in 長崎大会	頼尊
8月2日	彦根ILP「カレー作り」	
3日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	市川
7日	ボッチャ練習	
8日	障害者虐待問題8.8検証集会 in 下関	頼尊
10日	バイオ大学講演	美濃部・大橋
11日	だんない企画会議	
15日	彦根ILP会議	小里
17日	夏休み企画～特別なサマーにしたいんだからあ～	
18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 事務局ケース会議	頼尊
18日	ボッチャ練習	
19日	長浜民生委員会	美濃部
21日	ステッカー貼り in 黒壁	美濃部・小里・谷口・ 大橋
23日	だんないちょこっとまつり	
25日	ピアカン委員会	美濃部・小里 谷口・大
26日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会	美濃部
27日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	市川
28日	ボッチャ練習	小里
28日	JIL ヤング委員会	小里
30日	北部地域障害者ネットワーク会議	美濃部・小里 谷口・大橋

9月1日	ステッカー貼り in 黒壁	美濃部・小里 谷口・大橋
2日	ぼてとファーム訪問	美濃部
3日	第1回米原市権利擁護センター 運営委員会	美濃部
5日	ポッチャ大会 野洲	美濃部・小里 谷口・大橋
6日	だんないピアカウンセリング	
8～9日	DPI 労働会議	頼尊
10日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 運営委員会	美濃部
11日	CIL 運営者向け 労働法のポイントと近年の動向	頼尊
11日	ぼてとファーム訪問	美濃部
12日	ピアカウンセリング タウンホーム	小里
	秋の特別ILP 第1弾 ～AJU 自立の家訪問～	美濃部・小里 谷口・大橋
14日	だんない企画会議	
15日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 事務局ケース会議	頼尊
15日	ピアカウンセリング委員会	美濃部・小里 谷口・大橋
17日	ぼてとファーム訪問	美濃部
17日	ほっとステーション訪問	美濃部
18日	長浜バイオ大学 実習発表会	美濃部・大橋
18日	福祉職場説明会 準備会議	美濃部
18～20日	高野山大学 講演	頼尊
21日	日本自立生活センター 周年記念事業	美濃部・頼尊・小里・ 谷口・大橋・岡田
23日	塩田さんの復職を応援する集会	頼尊
23日	秋の特別ILP 第2弾～秋の交流会～	美濃部・小里・谷口・ 大橋・岡田
24日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会	美濃部
25日	ピアカウンセリング タウンホーム	美濃部・小里
	ポジティブキャンプ出店者説明会	頼尊
26日	秋の特別ILP 第3弾～なんばおにごっこ～	頼尊・小里 谷口・岡田
28日	新琵琶湖博物館創造ユニバーサルデザイン評価	頼尊

職員リレートーク

だんないにご縁をいただいて

だんないに就職し早3ヶ月が過ぎました。

当事者主権、指示介助、自立生活などの専門用語が並ぶと、なんだか難しいことのように感じますが、人として普通に暮らす為の活動をされているんだなあ と私は捉えています。

今おかれている自身の立場をしっかりと受け止め、前向きに活動されている姿に感動です。

3ヶ月の間にも大阪、京都、名古屋など公共交通機関を利用しての移動介助を経験させて頂きました。

今まで何とも思わず電車に乗降していましたが、電動車いすでの乗降には、都度駅員さんに声をかけ、スロープを用意してもらわないといけないのです。

それはプラットフォームと車輦の間にある隙間と段差が障害になっていることを知りました。

車輦には車いすスペースが用意されていますが1台分しか無く、介助者スペースはありません。

(一部の地下鉄ではバリアフリーになっている所もありますが・・・)

このような問題の他にもいろいろな意味での段差と向き合っておられることも知りました。

だんないは地域に根ざす活動もされており、だんない祭では楽しい一時も体験させて頂きました。

だんないにご縁をいただいたお陰で、今もなお経験や勉強をさせて頂けることに感謝しています。

自身の為、後輩の為に活動されている当事者さんのヘルパーとして、優しさや思いやりを見失わないように勤めさせていただきたいと思います。

高田 佳子



コラム

ヨリの雑記帳（19）

頼尊恒信

いつものことであるが、今回は、特に、原稿執筆の速度が遅い。昔から、「忙しい」という字のことを『心』を『忘れる』という状態であると言われることが少なくないが、近年の私の状況は正しくそれに類する状況であったと言わねばならないだろう。

最近、ある障害の社会モデルに関する学会に参加する機会を得た。その会では、多くの人が、障害の社会モデルの考え方を主眼として、多くの物事について発表されると私は思い込んでいた。しかしながらである。実際にふたを開けてみると、若干ニュアンスが異なる発表が少なくなかった。

障害の社会モデルは、障害者という「政」の権利を保障し、社会全体で障害者の自立生活を実現していく道をさぐるという考え方がベースとなっている。その考え方がベースとなって、社会的排除を超えていくために、バリアフリーや、共に学ぶ教育、施設から地域に出て暮らす、障害者自身の意思決定を尊重するなど、多く考えるべきテーマがある。だからこそ、障害の社会モデルを考える学会では、多岐にわたる物事が議題になる。

が、しかしである。どの世界でも同じようなことが言えるだろうが、多岐にわたる議題について議論しすぎて、肝心かなめであるはずの「障害の社会モデルとは何か」という基本中の基本が抜け落ちたり、ピントがずれたりしてしまうのである。だからこそ、実際にふたを開けてみると、若干ニュアンスが異なる発表が少なくなかったのである。

「基本」とは、『広辞苑』で調べると「物事がそれに基づいて成り立つような根本」と書いてある。つまり、その物事の一番根源的な物事を指すのであろう。しかしながら、多く考えるべき応用的なテーマを議論していると、基本が抜け落ちるのである。なぜなら、現実生活は、基本の繰り返しではなく、基本をベースとしながらも、それをいかに応用していくかという、応用力が問われる日々であるからである。つまり、「心」を「忘れる」ほどの現実生活に埋没して、応用性に注目するあまり、基本的視座のピントがずれるのである。

先日、ピープルファーストという知的障害者の当事者団体の全国大会に出席した。そこでは、もちろん、わかりやすい言葉で議論が進められていた。わかりやすい言葉で話すということは、物事の基本や本質に立って話を進めるということである。大会に出ていると、日頃、私がいかに難しい言葉で応用性の高い議論をしているかが、身につまされた。つまり、それだけ、私も基本がぶれているのである。

「生

って、書きながらも、今日もムツカシイ議論をしてしまった。アタマを冷やして、初心を忘れず、基本を学び続けたい。

(よりたか つねのぶ)

NPO 法人 CIL だんない

代表 美濃部裕道、副代表 市川正太

事務局長 頼尊恒信、理事 横山卓馬

URL : www.ab.auone-net.jp/

郵便振替口座番号 : ゆうちょ銀行木之本支店 00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL : 0749-50-3639

749-50-3961

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp